

	English	中文	交通アクセス・地図	お問い合わせ	サイトマップ	サイト内検索
	受験生の方	広大へ留学希望の方	一般・地域の方	企業の方	卒業生の方	在学生・保護者の方

大学案内

入試情報

教育・学生生活

研究

社会連携

留学・国際交流

学部・大学院等

研究所・施設等

広報・報道

採用情報

校友会・同窓会

支援財団・基金

図書館・博物館等

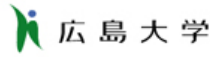
大学病院

附属学校

[トップページ](#) > [広報・報道](#) > [報道発表・報道された広島大学](#) > [平成20年1月-12月](#) > 口腔健康科学専攻（修士課程）の設置について

口腔健康科学専攻（修士課程）の設置について

NEWS RELEASE



広島大学学長室広報グループ  
 〒739-8511 東広島市鏡山 1-3-2  
 TEL:082-424-6017 FAX:082-424-6040  
 E-mail:koho@office.hiroshima-u.ac.jp  
 (※@は半角に置き換え送信してください。)

平成20年10月30日

### 口腔健康科学専攻（修士課程）の設置について 日本で最初の口腔健康科学分野の大学院がスタートします。

広島大学は、平成21年4月、大学院医歯薬学総合研究科に、口腔健康科学分野における高度専門的医療人や教育者・研究者を養成する「口腔健康科学専攻」（修士課程）を設置しますのでお知らせいたします。

口腔健康科学専攻の概要は、別紙のとおりです。

広島大学では平成18年3月まで、歯学部2年制の附属歯科衛生士学校（昭和51年設置）と附属歯科技工士学校（同47年設置）を併設してきました。日本の歯科大学の中で、この2つを併設してきたのは、東京医科歯科大学と広島大学の2校だけであり、多くの人材を輩出してきましたが、口腔健康科学としての体系化は遅れていました。

このため、新たな学問体系の拠点をつくるべく、2つの附属学校を4年制教育に発展させ、平成17年4月、歯学部2年制に口腔保健学科（平成21年4月から口腔健康科学科に名称変更予定）を設置しました。この口腔保健学科は、口腔保健衛生学専攻と口腔保健工学専攻を有しており、現在、この2つの専攻を持つ大学は広島大学だけです。

今回新たに、この2専攻を統合した大学院修士課程を設置し（将来の博士課程設置も視野に入れ）、時代の要請に応じた口腔健康科学分野の高度専門的医療人および教育者・研究者を養成します。

 [別紙: 口腔健康科学専攻（修士課程）概要 \(30.8KB\)](#)

【お問い合わせ先】  
 広島大学歯学部口腔保健学科  
 学科長、教授 二川 浩樹  
 TEL:082-257-5097

広大公式アカウント一覧

 Twitter

 Facebook  
 (日本語版)

 Facebook  
 (英語版)

 YouTube


 行事カレンダー

 ストリートビュー

 キャンパスカメラ

 学内ポータル

[> 広島大学公式ウェブサイトについて \(サイトポリシー\)](#) > [> プライバシーポリシー](#)

Copyright(C) 2003-2014 広島大学  
 \* 電話番号・所在地  
 <編集>: 広島大学広報グループ  
 [お問い合わせはこちら](#)

# 広島大学大学院医歯薬学総合研究科 口腔健康科学専攻（修士課程）概要

## 1 目的

口腔健康科学分野において、口腔保健の高度専門的医療人の養成及び口腔保健学並びに口腔工学の確立と普及を担う教育者・研究者を養成するとともに、口腔健康科学分野で国際的に活躍できる人材を養成することを目的とする。

## 2 理念・目標

クリニカルコースでは、高度専門的医療人として、より高度化した歯科医療の中で歯科医師と連携し、チーム医療を実践できる Oral Health Manager 及び Oral Engineer を養成するとともに、我が国の研究をリードし口腔健康科学の拠点となるべく各分野の高度な研究教育を展開し、国際的に活躍できる人材の養成を目標とします。

リサーチコースでは、有資格者だけでなく他学部出身者も対象に、国民の健康の維持増進を目的とし、口腔から全身の健康を維持促進するための口腔健康科学という学術体系を構築すべく、その教育者及び企業・大学における研究者を養成します。

## 3 人材育成

### (1) 口腔保健の高度専門的医療人の養成（クリニカルコース）

高度専門的医療人として Oral Health Manager を養成し、高度専門的診療支援において病院、診療所での歯科医療に貢献する。また、少子高齢化に対応した健康増進・地域貢献として在宅診療支援、介護支援、摂食・嚥下リハビリテーション等を行うとともに、行政分野等における口腔保健のリーダーとなる人材を養成します。

また、口腔工学分野の高度専門的医療人 Oral Engineer として、口腔と顎顔面の形態的、機能的修復、CAD/CAM によるノンメタル修復を行う顎口腔分野の専門技士、高度歯科医療の現場で他の医療専門職とのチーム医療に参加し、検査、診断を普及するとともに、治療援助、社会復帰支援を行う人材を養成します。

### (2) 口腔保健学、口腔工学の確立と普及を担う教育者・研究者の養成（リサーチコース）

国民の健康の維持増進を目的とし、口腔から全身の健康を維持促進する口腔健康科学の教育者・研究者を養成します。

口腔保健学の教育者・研究者としては、食育の研究、口腔機能と全身の健康との関係の解明、疾病予防や介護予防における新しい健康観に対応した教育研究を行います。

口腔工学分野の教育者・研究者は、IT を活用した遺伝子工学に基づくオーダーメイド医療、口腔機能分析の高度センサー機器、プログラムの開発やバイオテクノロジーによる顎口腔領域の組織再生医療、生体材料の開発を行います。

## 4 専攻の概要

(1) 名称

医歯薬学総合研究科 (Graduate School of Biomedical Sciences)

口腔健康科学専攻(修士課程)(Master's program for Oral Health Sciences)

(2) 修業年限

2年

(3) 入学定員 / 収容定員

12人 / 24人

(4) 学位

修士(口腔健康科学)

(5) 開設年次

平成21年4月予定

## 5 教員組織

口腔健康科学専攻(修士課程)を主担当とする教員で組織し、一部の授業科目については医歯薬学総合研究科及び工学研究科等の教員の協力により教育研究を遂行します。

専攻名	教授	准教授	講師	助教	計
口腔健康科学専攻(修士課程)	6	2	4	1	13

## 6 アドミッションポリシー

医歯薬学総合研究科では、以下のような志のある人の入学を期待します。

- ・ 医学・歯学・薬学の臨床・基礎の先端研究に取り組みたい人
- ・ 医歯薬学研究, 生命科学研究の基礎を幅広く既存の枠組みを越えて学びたい人
- ・ 高度先進医療に参加したい人
- ・ 主体的にものごとを考え, 問題を解決するトレーニングを受けたい人
- ・ 社会人として医療系でのキャリアアップを図りたい人

口腔健康科学専攻(修士課程)受入れ方針

口腔健康科学専攻(修士課程)では, 口腔保健・医療福祉及び医療工学分野に従事する専門家として求められる基本的な教養とコミュニケーション能力等の資質とともに, 専門科目の履修に必要な基礎学力を有した上で, 生命科学一般及び保健医療福祉, 医療工学に立脚した専門分野への深い関心と高い目的意識を持ち合わせた学生を求めます。

クリニカルコースでは, より高度なチーム医療の中で活躍したいと考える歯科衛生士, 歯科技工士の有資格者を求めます。

リサーチコースでは, 出身学部などに制限なく広く募集し, 歯工連携・医工連携・産学連携研究等を通じ, 口腔健康科学の確立及び発展に寄与できるフロンティア精神に溢れる人材を求めます。